

新開発のmini LED バックライト搭載により、輝度やコントラストを飛躍的に向上

## 8K/4Kテレビ『AQUOS XLED』5機種を発売



<左：8T-C85DX1/75DX1/65DX1／右：4T-C65DP1/55DP1>

シャープは、新開発のmini LED バックライトを搭載した8K/4Kテレビ『AQUOS XLED』の新製品2ライン<DX1/DP1>を発売します。ブランドも新たに、85V型から55V型まで大型ゾーンに計5機種をラインアップしました。

新製品は、光源であるバックライトに小型のLED（mini LED）を採用。当社従来機<sup>\*1</sup>比 約72倍（<4T-C65DP1>の場合）の数のmini LEDを高密度に敷き詰めました。新開発の「アクティブmini LED駆動」技術により、表示する映像に応じて、エリアごとの明暗をきめ細かく制御することで、コントラストなどの表示性能が飛躍的に向上しました。ピーク輝度は、当社従来機<sup>\*1</sup>比 約3倍（同）の高輝度を実現。まばゆいばかりの輝きから締まった黒の表現まで、ダイナミックな映像でお楽しみいただけます。また、バックライトの光波長を変換する「量子ドット<sup>\*2</sup>リッチカラー」技術を新たに採用しました。バックライトの光から純度の高い光の3原色（青・緑・赤）を生み出し、広色域かつ鮮やかな発色を実現します。

スピーカーシステムも刷新しました。画面下部に加え、上部およびサイド<sup>\*3</sup>にもスピーカーを配置した新開発の「ARSS+」（AROUND SPEAKER SYSTEM PLUS）音響システムが、イマーシブ<sup>\*4</sup>な音場を実現。あたかも画面中央からセリフや音楽が聞こえるような感覚で、映像と音声为一体となった臨場感が味わえます。

映像と背景の境界をわずか約0.2cm<DX1ライン>まで狭額縁化した「フローティングディスプレイ」デザインにより、まるで空間に浮かんでいるかのような映像をお楽しみいただけます。

品名	愛称	形名		希望小売価格	発売日	当初月産台数
8K テレビ	AQUOS XLED	DX1	8T-C85DX1	オープン	2021年12月10日	計4,000台
			8T-C75DX1			
			8T-C65DX1			
4K テレビ		DP1	4T-C65DP1		2021年12月10日	
			4T-C55DP1		2022年2月26日 2022年3月19日*	

\* 事情により発売日を変更します。(2022年2月22日)

**AQUOS XLED**

AQUOS誕生から20年。新たなシリーズがラインアップに加わります。新ブランド『AQUOS XLED（アクオス エクスレッド）』は、「すばらしい映像体験」（excellent experience）をコンセプトに名付けました。

### ■ 主な特長

1. 新開発のmini LED バックライトを搭載。新技術「アクティブmini LED駆動」と「量子ドットリッチカラー」により、高コントラスト・高輝度・広色域を実現
2. 新開発の「ARSS+」音響システムが、聞きやすく没入感のある音場を実現
3. 狭額縁設計により映像が浮き立つ「フローティングディスプレイ」デザインを採用

※1 当社4K液晶テレビ<4T-C65DN1>（2021年発売）との比較において。新製品<4T-C65DP1>のmini LEDの個数は約8,000個です。8Kテレビの場合は、数値が異なります。

※2 バックライトが発する青色光を、量子ドットフィルターを介して波長変換することで、より効率的に豊かな色彩表現を実現する技術です。

※3 サイドスピーカーは<DX1ライン>のみに搭載。<DP1ライン>は、画面下部および上部にスピーカーを配置しています。

※4 没入感のあるさま。

【 ホームページ 】 <https://corporate.jp.sharp/>（画像ダウンロード <https://corporate.jp.sharp/press/>）

【 本 社 】 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

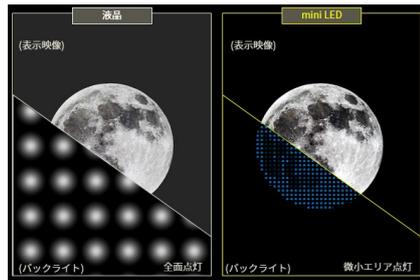
【 お客様お問い合わせ先 】 お客様ご相談窓口 ☎ 0120-001-251

## ■ 主な特長

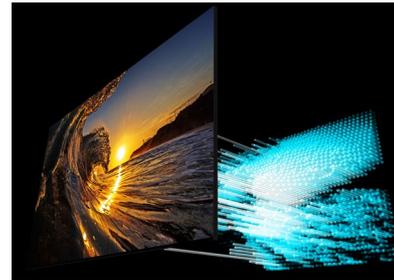
### 1. 新開発のmini LED バックライトを搭載。新技術「アクティブmini LED駆動」と「量子ドットリッチカラー」により、高コントラスト・高輝度・広色域を実現

#### 1) 輝度やコントラストが飛躍的に向上する「アクティブmini LED駆動」

バックライトに、当社従来機<sup>\*1</sup>比 約72倍 (<4T-C65DP1>の場合) の数のmini LEDを高密度に配置。表示する映像に応じて、エリアごとの明暗をきめ細かく制御するとともに、明るくしたい場所に電力を集中させることで、高いコントラストと当社従来機<sup>\*1</sup>比 約3倍 (同) のピーク輝度を実現しました。夕日のきらめきなどを美しくクリアに映し出します。



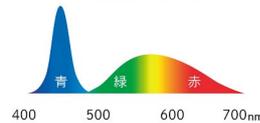
バックライト点灯イメージ



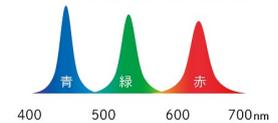
アクティブmini LED駆動  
効果イメージ

#### 2) 広色域かつ純度の高い3原色を生む「量子ドットリッチカラー」

ナノサイズの半導体粒子である量子ドットによる光波長変換技術を採用。バックライトの青色光から純度の高い3原色 (青・緑・赤) を生成することで、広色域と色鮮やかな映像表現を実現します。



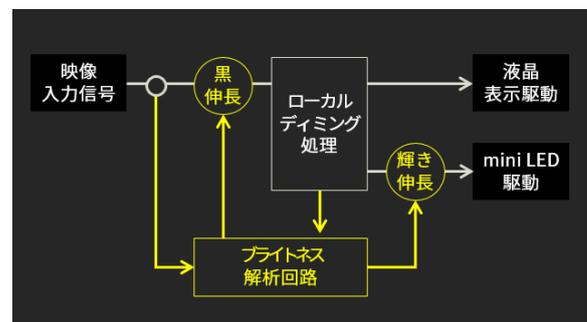
従来のバックライト  
波長イメージ



量子ドットによる  
光変換の波長イメージ

#### 3) コントラスト表示性能をさらに高める新設計回路「フレアブライトネス」

表示する映像の局所的な明るさやコントラストを解析し、明暗差をさらに伸長することで、まばゆいばかりの輝きや締まった黒などのコントラスト表示性能をさらに際立たせる新設計「フレアブライトネス」回路を搭載しました。当社独自のバックライト最適制御技術の応用により、まるで目の前に実物があるかのような、豊かな明暗表現力のある映像を再現できます。



フレアブライトネスなしイメージ

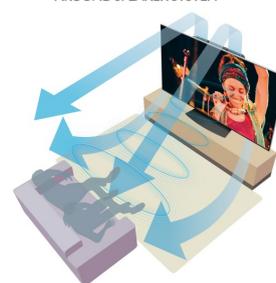


フレアブライトネスありイメージ

## 2. 新開発の「ARSS+」音響システムが、聞きやすく没入感のある音場を実現

画面下部に加え、上部およびサイド※3にスピーカーを配置。イマーシブな音場を実現します。あたかも画面の中央付近から音が聴こえるような感覚で、映像と音声为一体となった臨場感を味わえます。

**ARSS+**  
AROUND SPEAKER SYSTEM



### 1) 映像と音声为一体化する「ARSS+」を薄型フォームにパッケージ <DX1ライン>

画面背面上部にミッドレンジ、サイドにツイーターを搭載。画面の周囲を8つのスピーカーで取り囲み、広がりのある音場を再現します。映像と音声の一体感を実現するスピーカーシステムを薄さ約2.6cm（凸部除く）のフォームに収め、高音質と薄型デザインを両立させました。



### 2) 音を斜め前方向に放出する独自構造ハイトスピーカー搭載の迫力サウンド <DP1ライン>

画面背面上部にツイーターおよびミッドレンジ搭載ハイトスピーカーを装備。背面のサブウーハーと合わせ、高域から低域まで豊かな音域をクリアでパワフルに再現します。また、ハイトスピーカーを前向きに20°傾斜させて設置することで、音を斜め前方向に放出し、包み込まれるような臨場感を体感できます。



## 3. 狭額縁設計により映像が浮き立つ「フローティングディスプレイ」デザインを採用

<DX1ライン>は、当社従来機※5比で約1/5の狭額縁化（約0.2cm）を実現しました。映像と背景の境界をミニマイズ。まるで空間に浮かんでいるかのような映像に没入してお楽しみいただけます。また、<DX1/DP1ライン>とも空間に溶け込みやすいシルバーフレームを採用しています。



※5 新製品<8T-C65DX1>と当社従来機<8T-C60CX1>（2020年発売）との比較において（<8T-C60CX1>のフレーム幅は、約1.3cmです）。新製品<4T-C65DP1>のフレーム幅は約0.7cmです。

## ■ その他の特長

### ・新開発 高画質画像処理エンジン「Medalist Z2X」<DX1ライン>/「Medalist S2X」<DP1ライン>

画像処理エンジン「Medalist」をさらに進化させ、『AQUOS XLED』の画質に最適化。8Kテレビの開発で培ってきた「超解像アップコンバート」技術を<DX1ライン>はもちろん、<DP1ライン>にも採用しています。解像度や映像フォーマットを解析し、被写体が本来持つ質感や輪郭などを緻密に再現します。地上デジタル放送やネット動画も細部まで美しく、臨場感豊かに表現します。

**Medalist Z2X**

対応機種 | DX1

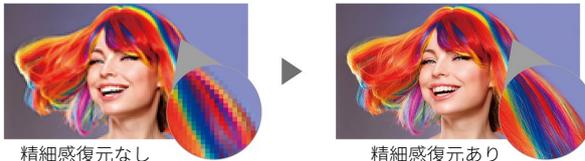
**Medalist S2X**

対応機種 | DP1

### ・映像本来の美しさを復元する「オブジェクト プロファイリング」

映像信号に含まれる被写体の動きや輪郭、質感などをリアルタイムで解析し、本来持っている精細感やコントラスト、色合いの情報を復元します。

#### ●精細感復元



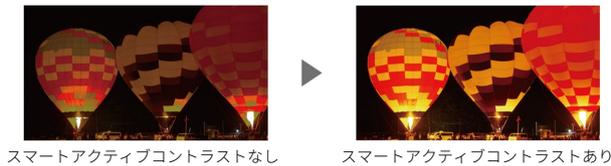
被写体が本来持っている精細感を推測し、微細情報を補い、高精細映像に復元

#### ●リアリティ復元



周囲の画素から被写体が本来持っている形状を推測し、滑らかな輪郭を復元

#### ●スマートアクティブコントラスト



HDR形式など入力フォーマットに応じて明暗描写を最適化

#### ●輝き復元



輝度信号を解析して、元の映像が本来持っている輝きを推測して復元

### ・約3,300万画素の圧倒的な情報量で映像を表示する高輝度・広色域8K液晶パネル <DX1ライン>

8Kパネルは、4Kの約830万画素に比べて4倍きめ細かな約3,300万画素の映像を表示します。高密度に並ぶ画素によって映し出される映像は、まるで目の前に実物があるかのようなリアルさを感じることができます。



・照明などの映り込みを抑える低反射広視野角「N-Wideパネル」＜DX1ライン＞

パネル表面に、低反射コートによる映り込み抑制効果と斜めから見ても高コントラスト性能を保つ素材を採用。さまざまな視聴位置から鮮明な映像をお楽しみいただけます。＜DP1ライン＞は、映り込みを抑えながら、つややかな黒を実現する「N-Blackパネル」を搭載しています。



従来

N-Wideパネル

・YouTube™ の8K動画再生に対応。YouTube に投稿されている世界各地で撮影された絶景などの臨場感あふれる8K動画を、自宅にいながらいつでも楽しめる＜DX1ライン＞



・3つのHDR規格に対応（「HDR10」・「HLG※6」・「Dolby Vision®（ドルビービジョン）」）



※6 Hybrid Log-Gamma（ハイブリッドログガンマ）方式の略。

・空間全体の音響パワーの変化をとらえて補正する音響補正技術「Eilex PRISM」搭載



・Android TV™ で、エンターテインメントをもっとシンプルに

リモコンの Google アシスタントボタンを押して、40万本以上の映画や番組をすばやく検索できるほか、テレビをハンズフリーで音声操作したり、Chromecast built-in™ を使ってデバイスからテレビに写真や動画、音楽を簡単にキャストしたりできます。



androidtv



・“おうち時間”がより楽しくなるエンタメ・生活情報サポートアプリ『COCORO VISION』に対応



・リアリティあふれる8K放送をお楽しみいただける「BS8Kチューナー」内蔵＜DX1ライン＞



・BS4K・110度CS 4Kチューナーを2基内蔵＜DX1／DP1ライン＞

4K放送視聴中に別の4K放送と地上／BS／CSデジタル放送の2番組同時録画が可能（外付けUSBハードディスクは別売です）。



4Kダブルチューナー内蔵

・番組録画時に、シーン（音声）の切り換わりに自動でチャプターを記録する「おまかせオートチャプター」に対応

・文字が読みやすい4K高精細表示と、番組や出演者の情報を画像付きで分かりやすく表示する番組表に対応



・HDMIケーブル1本で接続できる8K映像入力※7に対応＜DX1ライン＞



※7 HDMI2.1仕様書に規定されている8K24Hz/30Hz/60Hz、4K120Hz入力に対応。DP1ラインは4K120Hz入力のみ対応。

- クラウドサービス「COCORO VISION」やインターネットサービス、Google アシスタント、Chromecast built-in のご利用には、インターネット接続が必要です。
- アプリやコンテンツサービスは提供事業者の都合により、予告なく変更・停止・終了する場合があります。第三者が提供するアプリやコンテンツサービスの変更・停止・終了に起因するすべての不具合や受けられた損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- Android TV のご利用には、Google LLC の利用規約およびプライバシーポリシーへの同意が必要になる場合があります。
- Google、Google Play、Android TV、Chromecast built-in およびその他のマークは Google LLC の商標です。
- DX1／DP1ラインはEilex International, LLCからの実施権に基づき製造されています。Eilex PRISM、VIR FilterはEilex International, LLCの商標です。
- TiVo、Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米国TiVo Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 電子番組表は、米国TiVo Corporationが開発したGガイドを採用しています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- この製品は、DigiOn のDiXiM Android TV SDK を採用しています。「DiXiM」は、デジオンのホームネットワークソリューションです。（<http://www.digion.com/>）DigiOn、DiXiMは、株式会社デジオンの登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Dolby Vision、およびダブルD記号は、アメリカ合衆国と／またはその他の国におけるドルビーラボラトリーズの商標または登録商標です。
- 機能を説明する挿絵は、効果を表すためのイメージです。

■ 専用オプション

品名	形名	希望小売価格	対応機種	備考
U S B ハードディスク (8K録画対応)	8R-C80A1	オープン	DX1 全機種	容量：8TB
U S B ハードディスク	4R-C40B1	オープン	DX1/DP1 全機種	容量：4TB
リモート コントローラー	AN-52RC3	オープン	DX1/DP1 全機種	—
壁掛け金具	SANUS社製 LL22-B1	オープン	DX1 全機種	取付け角度 0度のみ
	ハヤミ工産株式会社製 MH-851B (ブラック) MH-851W (ホワイト)	オープン	4T-C65DP1	
	ハヤミ工産株式会社製 MH-651B (ブラック) MH-651W (ホワイト)	オープン	4T-C55DP1	
HDMIケーブル	AN-03SC8	オープン	DX1/DP1 全機種	—

■ 主な仕様

品名	8Kテレビ			
形名	8T-C85DX1	8T-C75DX1	8T-C65DX1	
液晶パネル	画面サイズ (横×縦/対角)	85V型 (187.4×106.2cm/ 215.4cm)	75V型 (165.0×92.8cm/ 189.3cm)	65V型 (142.8×80.4cm/ 163.9cm)
	画素数	水平7,680×垂直4,320画素		
	使用光源	mini LED (直下型)		
スピーカー	ハイトミッドレンジ 2個、サイドツィーター 2個、 ミッドレンジ 2個、サブウーハー 2個			
音声実用最大出力・(JEITA)	70W (5W+5W+10W+10W+10W+10W+10W+10W)			
使用電源	AC100V 50/60Hz			
消費電力	約602W	約547W	約391W	
待機時消費電力	0.5W	0.5W	0.5W	
年間消費電力量※8	421kWh/年437kWh/年*2	388kWh/年410kWh/年*2	327kWh/年383kWh/年*2	
本体寸法	ディスプレイ部 (幅×奥行×高さ)	187.7×3.1×107.8cm	165.5×3.1×95.2cm	143.3×3.0×82.6cm
	テーブルスタンド装着時 (幅×奥行×高さ)	187.7×34.3×113.2cm	165.5×31.0×100.9cm	143.3×26.4×88.2cm
本体質量	ディスプレイ部	約48.0kg	約37.0kg	約26.5kg
	テーブルスタンド装着時	約60.0kg	約45.0kg	約32.0kg
受信チャンネル	地上デジタル (ワンセグを除く) 011~528ch (CATVパススルー対応)、 BSデジタル001~999ch、110度CSデジタル000~999ch、 BS4K001~499ch、110度CS4K500~999ch、 BS8K001~499ch			
接続端子	HDMI入力 4系統4端子 (入力4: ARC対応、入力3/4: 8K対応)、 デジタル音声出力 (光) 1系統1端子、 地上デジタルアンテナ入力端子、 BS・110度CS (HD・4K8K) アンテナ入力端子、 USB3系統3端子 (録画用: 1端子/メモリー用: 2端子)、 LAN1系統1端子 (10BASE-T/100BASE-TX)			
付属品	テーブルスタンド (組立式)、リモコン、 単4形乾電池 (2個)、転倒防止部品一式、取扱説明書、保証書			

品名		4Kテレビ	
形名		4T-C65DP1	4T-C55DP1
液晶パネル	画面サイズ (横×縦/対角)	65V型 (142.8×80.4cm/163.9cm)	55V型 (121.0×68.0cm/138.8cm)
	画素数	水平3,840×垂直2,160画素	
	使用光源	mini LED (直下型)	
スピーカー		ハイトツイーター 2個、ハイトミッドレンジ 2個、 ツイーター 2個、ミッドレンジ 4個、サブウーハー 1個	
音声実用最大出力・(JEITA)		80W (10W+10W+7.5W+7.5W+15W+15W+15W)	
使用電源		AC100V 50/60Hz	
消費電力		約357W	未定約286W*1
待機時消費電力		1.0W	未定1.0W*1
年間消費電力量*8		200kWh/年218kWh/年*2	未定170kWh/年*1
本体寸法	ディスプレイ部 (幅×奥行×高さ)	144.2×7.2×84.5cm	未定122.5×7.3×72.4cm*1
	テーブルスタンド装着時 (幅×奥行×高さ)	144.2×29.0×89.6cm*9	未定122.5×29.0×77.4cm*9*1
本体質量	ディスプレイ部	約33.0kg	未定約23.5kg*1
	テーブルスタンド装着時	約39.0kg	未定約29.5kg*1
受信チャンネル		地上デジタル (ワンセグを除く) 011~528ch (CATVパススルー対応)、 BSデジタル001~999ch、110度CSデジタル000~999ch、 BS4K001~499ch、110度CS4K500~999ch	
接続端子		HDMI入力 4系統4端子 (入力4: ARC対応、入力3/4: 4K120Hz入力対応)、 AV入力/入力2音声入力端子 (φ3.5ミニジャック) 1系統1端子 (兼用)、 デジタル音声出力 (光) 1系統1端子、 ヘッドホン出力/アナログ音声出力端子 1系統1端子 (兼用)、 地上デジタルアンテナ入力端子、 BS・110度CS (HD・4K) アンテナ入力端子、 USB3系統3端子 (録画用: 1端子/メモリー用: 2端子)、 LAN1系統1端子 (10BASE-T/100BASE-TX)	
付属品		テーブルスタンド (組立式)、リモコン、 単4形乾電池 (2個)、転倒防止部品一式、取扱説明書、保証書	

- \*8 年間消費電力量とは、省エネ法に基づいて、一般家庭での平均視聴時間 (4.55.1\*2時間) を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。年間消費電力量は、AVポジションを「標準」として測定しています。
- \*9 画面角度 (左右) を最大まで調節時、5mm程度高くなる場合があります。
- \*1 消費電力やサイズ、質量などが確定しましたので修正します。(2022年1月31日)
- \*2 年間消費電力量は、目標年度2026年度基準に基づいた数値です。リリース当初、「未定」としていた4T-C55DP1の年間消費電力量を、2026年度基準で追記することに伴い、8T-C85/75/65DX1、4T-C65DP1の年間消費電力量の記載も、2012年度基準から2026年度基準での数値に改めています。(2022年1月31日)

本製品に関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。  
<https://jp.sharp/aquos/>